平成30年度日本語指導実践事例⑤

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 小学校２年生 | 母語 | インドネシア語 | DLAステージ |
| 日本語の状況 | 積極的に日本語でコミュニケーションを図ろうとするが、日常語彙の中でも言葉に出ないものがある。ひらがな・カタカナの五十音は昨年度学習しているが、カタカナは定着していない。音読は、読み間違いがあり、文節の区切りが不安定であるが、おおまかに内容をとらえることができている。自分から書きたいことを見つけて、文章にすることが難しい。 | 語彙力 | 43.6% |
| <話す> | 3 |
| <読む> | 4 |
| <書く> |  |
| <聴く> |  |
| 指導目標 | 日常のコミュニケーション力、教科の学習活動に積極的に参加するために必要な語彙力や表現力を獲得する。 |
| 指導計画 | ・日記指導を通して、日常生活に必要な語彙を獲得していく。また、基本的な文型を使えるようになる。・教科書以外の読み物にも触れ、多読をすすめる。読解力の向上を図るだけでなく、見通しや感想を伝える活動を取り入れ、自分の考えを表現できるようにする。・異学年との学び合いの中で、既習の内容を自分の言葉で説明したり、話し合ったりすることで、より多くの教科学習言語に触れるようにする。 |

1. 教科・単元名　算数「１００より大きい数をしらべよう」
2. 目標(教　科)３位数の構成や各位の数についてまとめる。

　　(日本語)数のあらわす言葉「１００を何こ、１０を何こ、１を何こ」の意味を知り、使えるようになる。

1. 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 準備物・資料等 |
| 1. 絵本を読む。(５分)
2. 算数「100よりも大きい数を調べよう」(20分)

・前時のふりかえり・めあてを知る・百、十、一のくらいをそれぞれの表し方を考える。・自分なりの問題をミニホワイトボードに書く。・ペアトークで問題を出し合う。1. ふりかえり日記(10分)
 | ・クイズのように問いかけながら読むことで、興味を引く。・挿絵に注目させ、ことばを引き出す。・前時のふりかえりで、百、十、一の位で分けると、数を簡単に表すことができることを確認する。(めあて)もんだいをつくって、クイズを出そう。・「○○を○こ」「あわせた数は○○です」という言葉で表現できることをおさえる。・助数詞に気をつける。・助詞に気をつける。・質問する時に、「○○を○こ」「あわせた数は○○です」の言葉を、順序よく話すことを確認する。・５Ｗ２Ｈの順序に沿って、書くことをおさえる。・書きたいことの中で、日本語が分からないものは、指導者の方から日本語で言い換える。 | ・絵本・ミニホワイトボード・ミニノート |